

備前市施策評価シート

(平成19年度事業)

施策名 (小項目)	財政(契約監理関係)	コード	作成者	役職	財政課長
		06-01-06	氏名	金光 亨	
			電話	64-1810	

備前市総合計画の内容から記載する

政策の体系	大項目(基本目標)	健全で自立したまちづくり
	中項目(基本施策)	簡素で効率的な行政運営
① 施策の対象と目的 (誰のために、何のために)	市民、事業実施担当課及び各業者のために、公正な契約を確保する	
② 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	公共工事は、不正行為を防止し、公正な競争を確保することが不可欠であることから、透明性や競争性を高めるための入札・契約制度を研究し、導入していく必要がある。	
③ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 入札制度の研究・見直し 	

④市民意識調査による施策の重要度・満足度

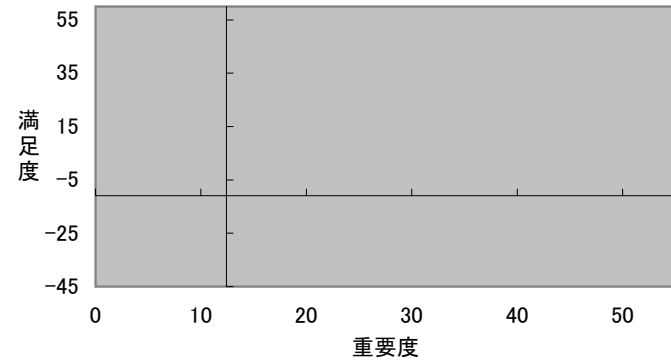
調査年度	H19	H20	H21
重要度(%)			
満足度(%)			

<見直し領域>
その施策や事業が必要か否かの検討が必要

<維持領域>
現状の方向を継続

<検討領域>
その施策や事業の存続の検討が必要

<強化領域>
内容等を見直し、市民満足度を高める事業を行う



調査結果に対するコメント、市民の反応等	内部的な事業であるため、市民からの問い合わせはほとんどない。
---------------------	--------------------------------

⑤ 施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績		評価年度				ベンチマーク	指標の説明
		H17	H18	H19	H20	H23	H28		
1 入札契約事務1件当たりの時間	時間	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	7.0		1件にかかる時間を短縮し、人件費の削減を図る
	実績	7.9	9.5	8.4					
	達成率	101.3	84.2	95.2					
2	目標								
	実績								
	達成率								
3	目標								
	実績								
	達成率								
4	目標								
	実績								
	達成率								

⑥ 施策構成事務事業の評価

施策を構成する事務事業	事務事業評価結果 A~E (高~低)	細事業	事業分類	事業費等(単位:千円,人)									H20 当初予算 直接事業費		
				H17			H18			H19					
				直接事業費	人件費	人工数	直接事業費	人件費	人工数	直接事業費	人件費	人工数			
1 契約管理事業	B	入札事務	内部管理	104			0	5,220	0.68	50	9,297	1.20	☆☆☆	\$\$\$	60
		契約事務	内部管理	138			208	5,219	0.68	42	4,220	0.64	☆☆	\$\$	56
		指名委員会運営事務	内部管理	0	20,670	2.35	0	6,751	0.88	0	4,009	0.42	☆☆	人件費のみ	0
		入札制度見直し事務	内部管理	0			0	1,160	0.15	0	2,085	0.23	☆☆☆	人件費のみ	0
		指名願い受付け事務	内部管理	0			0	4,640	0.61	0	3,264	0.42	☆☆	人件費のみ	0
2 検査事業	A	コスト縮減指針作成事務	内部管理	0			0	896	0.12	0	328	0.04	☆☆	人件費のみ	0
		設計審査事務	内部管理	0	15,170	1.70	0	3,584	0.48	0	2,875	0.34	☆	人件費のみ	0
		工事等共通事項事務	内部管理	0			0	1,800	0.19	0	1,800	0.19	☆	人件費のみ	0
		検査関係事務	内部管理	0			0	4,480	0.60	0	2,471	0.24	☆☆☆	人件費のみ	0
この施策に費やした資源(単位:千円,人)				H17	H18	H19	H20当初(直接事業費)								
				242	35,840	4.05	208	31,950	4.20	92	30,349	3.72	116		

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
入札依頼担当課	起工から完了までの事務	適正な契約事務

⑧ 施策の評価

項目	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い			
	一次評価		二次評価	
	評価	判断理由	評価	判断理由
1 目的達成度 (中・長期目標に対する)	3	目標値には届かなかったものの、削減できた。	3	少しずつではあるが、進展している。
2 事業構成の適当性	4	入札、契約、検査を一元的に管理するためには、適正な事業である。	4	公平・公正な事業執行のためには、必要な事業である。
3 施策の有効性 (評価年度の目標達成)	3	透明性、競争性を高めるための入札制度改革を進めるために有効	3	透明性、競争性を高めるための入札制度改革を進めるために有効
担当への指示 (今後の展開・協働の可能性・事業見直し・新規事業創出等)	一般競争入札のスムーズな導入に向けた検討を進めてください。		一般競争入札を早急に試行し、総合評価方式についても、検討を進めること。	
二次評価者コメント 役職 総務部長 氏名 森山 純一	業者側にも必要な設備を整備してもらい、理解と協力を求めている必要がある。将来的には、一般競争入札が基本となると思われ、移行に向けて準備を進めていく必要がある。			基本施策への貢献度 3中立